

# 精華町教育委員会会議録

平成26年（第9回）

- 1 開 会 平成26年9月24日(水) 午前10時00分  
閉 会 平成26年9月24日(水) 午後 0時10分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員  
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

木原教育部長	竹島学校教育課長
村川生涯学習課長	北澤総括指導主事
森川図書館長	山崎学校教育課主査

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第9回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成26年第8回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし。

【採 決】

- ・全員承認。

(3) 教育長報告事項

特になし

(4) 議決事項

ア 議案第17号 精華町教育委員会教育長の任命について

～地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第5項の規定により、自己の一身上に関することについては議事に参加できな

いため、太田教育長退席後に議事を進行～

**【提案説明】**（教育部長）

現教育長の太田信之氏の任期が平成26年10月7日に満了することに伴い引き続き教育長に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第16条第2項に基づき提案。任期は平成26年10月8日から平成30年10月7日までの4年間。

**【委員の意見】**

任期が4年間となっているが、平成27年4月1日施行の教育改革との関連についてはどうか。（伊藤委員長）

**【事務局】**

改正法が施行となっても、経過措置により任期中は現行制度が適用される。（教育部長）

**【採決】**

全員挙手により原案どおり決定

教育長再任のあいさつ

教育長の任命議案について議決頂き、本当にありがとうございました。

振り返ると、平成18年の8月に教育委員に任命され、8年が経過しましたが、この間たくさんの方の教育委員の皆様本当に親身になって助けていただき、大きなお力添え、また支えて頂いたことに本当に感謝しております。

新任時からの所信として、一つは、何と申しましても今、現行の教育委員会制度により教育行政が運営されているわけで、わたしたち教育委員は英知を結集し合い、本町の教育行政に必要な指針となるものを示す必要があること。そのためにも、この教育委員会運営は非常に重要であると考えております。もう一つは、教育現場には様々な課題を抱えており、特に学校と教育委員会との信頼関係をしっかり築いていく必要があると。この2つのことを念頭に進めてまいりました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律がいよいよ来年度から施行さ

れ、教育委員会制度が大きく変わりますが、今言いましたような姿勢だけはしっかり、守っていく必要があるかと思っております。これから様々な難しい問題も出てくるかと思いますが、そのような基本姿勢をしっかり守りつつ、新たな課題に向け対応していきたいと思っております。

これまでから教育委員会の運営方法等については改善を重ねてきたわけですが、さらなる挑戦も必要だろうと思っております。例えば、教育委員会の開催回数について、現在の会議時間が2時間では収まらない事が多々出てきており、その辺はどうすれば良いのかというようなこともございますし、事前の勉強会や相談といったものを、もう少しシステムティックに出来ないかということも思っております。それから、研修は非常に大事な要素だというふうに思っていますので、それをお互いに研修の成果を共有するという意味で、復命のあり方などについても、もう少し改善ができないかと考えております。

いずれにいたしましても、新しい法律の下でも教育委員会機能というのを十分に発揮できますよう、委員の皆様方のお力をお借りするとともに、私も頑張っていきたいと思っております。

教育行政の当面の課題としては、第一に精華中学校の全面改築を何としても良いものにやり遂げること、それに続きまして、教育環境の整備ということであれば、空調設備の設置や中学校給食の実施時期についての具体的な計画を出来るだけ早い時期に策定していきたいと考えており、これから予算編成の時期を迎えますので、その辺りについても大いに議論していきたいと思っております。

次に、いじめ防止基本方針を策定しましたが、まだ枠組みを整えたばかりで、例えば4つの組織の体制づくりなど、これも時間を余りかけずに鋭意進めていきたいと考えております。

長期的に見ますと精華町のまちづくりが新たなステージで日々進んでおりますが、学研都市にふさわしい教育環境、それから、精華町は若い世帯が比較的多い町ですが、その先は少子高齢化、人口減少社会を免れることはできません。本町の将来像を見据えた上での教育行政の展開ということが大事になってまいります。そういう意味では新しい教育行政制度改革により首長部局と一体になり、種々挑戦しなければならない問題が出てくるだろうと考えています。例えば、精華町の特徴を生かした「科学のまちの

子どもづくり」というような積極的教育政策の更なる展開や、人権教育、特別支援教育、心の教育の推進など、大きな社会の流れの中で問題を考えていく必要があると思っていますし、さらには、生涯学習という部分の役割が今後さらに重要になってくると思います。その中でも文化財行政について、これまでの取り組みの中では弱かった部分であり、これから生涯学習推進のなかに位置づけ、強化をしていくというようなことも考えているところであります。このほか様々な課題があるわけですが、教育委員の皆さんと課題意識を共有しながら、今後進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## (5) 諸報告

### ア 教育部長

#### 1 議会の動き

##### ①教育委員の任命同意について

賛成多数で議決

##### ②総務教育常任委員会について

###### i 議決事項

川西小学校学校施設等の取得について

平成17年校舎の改築工事の実施の際、学研都市京都土地開発公社が先行取得した工事費相当分の買い戻しについて、賛成全員で議決

###### ii 報告事項

- ・平成25年度の問題事象について
- ・精華町いじめ防止基本方針について
- ・小学校給食費の状況について

##### ③予算決算常任委員会について

###### i 平成26年度一般会計補正予算

- ・山田荘小学校研究開発委託費の増額
- ・東光小学校土曜日活用委託事業費の新規計上
- ・精華中学校コミュニティ事業の新規計上

###### ii 平成25年度一般会計決算審査

##### ④一般質問

i 読書活動の推進（今方議員）

- ・平成24年6月図書館1年生事業を提案したが導入への進捗状況は。
- ・平成22年3月、24年6月読書の日を制定を提唱したが、制定への進捗状況は。
- ・子育て世代の利用者に気兼ねなく利用できる赤ちゃんタイムの導入を。

ii 中学校2学期制について（柚木議員）

- ・5年経過した平成22年以降の2学期制について保護者等から意見集約したか。
- ・2学期制のメリットは。
- ・デメリットは把握しているのか。
- ・全国の公立中学校の2学期制は20%と減少傾向にある。3学期制に戻す時期と考えるがいかがか。
- ・当事者の意識を把握する必要がある。保護者、教職員、中学生の意見を集約するためのアンケート調査実施の提案。

iii 学校へのエアコン設置と中学校給食（佐々木議員）

- ・具体化スケジュールを問う。
- ・中学校給食の基本方針は、打ち出されているが、その後の具体的検討経過が公開されていない。理由を問う。
- ・基本方針と実行の間の時間的経過が長くなる場合、基本方針そのものの妥当性（建設運営コストの変動、機器の進歩、教育科学の進歩など）が損なわれる場合が想定される。方針見直しを考えるのか、問う。

iv 中長期的視点での小中一貫校設置に向けて（宮崎議員）

- ・南部地域における今後10年間の、児童生徒の人口推移予測は。
- ・小中一貫校設置に対する本町教育委員会の考え方は。
- ・既に他自治体での小中一貫校の教育が始まっている中、中一ギャップがなくなるなどのメリット・デメリットについての検討はされているのか。
- ・財源確保の厳しい昨今、土地の有効利用についての検討は。

v 教職員の平均年齢の低下について（三原議員）

- ・町内中学校の教職員の平均年齢は。
- ・教職員の年齢低下に伴い、若手や中堅にどのような指導をするのか。
- ・ベテラン教職員の退職で、スムーズな授業が行われているのか。

2 小・中学生夏季期間中の各種大会の成績等報告

3 けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワークの設立について

本町では、学研地区という利点を生かし、小・中学校への出前授業、小・中学校からの企業訪問、新任教職員の理科研修、さらにはジュニアロボットクラブの指導など、学研地区を生かした様々な授業の展開を「科学のまちの子どもたちプロジェクト」と銘打ち進めている。今回これらの事業をさらに発展させるため、多様な学びの機会を提供するため「けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク」が立ち上げられた。

実施事業としては①けいはんな科学体験プログラムの企画・運営②学研都市のリソースを生かした出前授業、教員研修のコーディネート③科学イベントの企画・運営並びにコーディネート④各種教育コンテンツの制作と配布並びに販売⑤学研都市研究機関の実証実験のサポートの5項目。

特に平成27年2月7日には、けいはんなプラザで親子参加型の科学体験イベント「けいはんな科学体験フェスティバル2015」の開催が予定されている。このような取り組みが精華町の特色ある事業になるよう、学校にも働きかけていきたい。

イ 学校教育課長

1 情報セキュリティセルフチェックシート集計結果について

今年2月に町立小学校で個人情報を含むUSBメモリの紛失という事象があり、それを受け各学校職場の実態把握と注意喚起を促すため、全教職員に対し情報セキュリティに関する調査を行い、216名の教職員の回答があった。

項目として、情報資産等の持ち出し状況について、行っていると

回答した者が32名おり、全回答者のうち15%となっている。

情報資産を職場以外に持ち出す場合、情報セキュリティ責任者（教頭）の許可を得ているかという問いに対しては、守らないこともある、持ち出しの際でも許可は得てないという回答が3割を超える結果となった。

私物パソコンの使用状況について許可を得ているかということに対し、守っていないというのが23人いた。

情報漏えい対策、外部ファイルの利用状況について、パスワードを定期的に変更しているかという問いに対し、33%が特に何もしていないと回答している。

学校で事務処理がし切れないための持ち帰りとなる情報処理作業では、年に数回もしくは恒常的に習慣化しているという回答が4割であった。その持ち帰りに対してルールの不遵守、無許可の持ち出しが45人で全体の2割程度。

公用パソコンに無断でソフトウェアを導入していないかということに対しては、許可を得ずに導入したことがある、許可を得ずに導入しているが30人、約4%という状況。

機器の改造について許可を得ずに改造、増設、交換等を行った者はいなかった。

ネットワークの接続状況では、許可なく私物のパソコン等の端末を校内LANに接続しているものはなかった。

公用パソコンから業務以外の目的でインターネット等ウェブを閲覧していないかという問いに対し、昼休みなど執務時間外で業務以外の目的で閲覧している者が48名、執務時間内に業務以外の目的で閲覧しているという者は4人程度いた。

この結果を受け、より一層情報セキュリティーに対し意識を高めるよう、校長会、教頭会で報告し、さらなる組織としての情報セキュリティー保全、信頼確立ということについて指導した。

社会では業務上の書類や、USBメモリー等の記憶媒体の紛失、電子メールやファクスの誤送信など、人的な不注意に起因する事故が後を絶たない状況であり、本町職員に対しても情報セキュリティーポリシーの理解や遵守の徹底を確認するため情報セキュリティー

ルフチェックシートの記入を行っているところで、今後学校に対しても、定期的な状況把握と意識改善と事故防止に努めていきたい。

## 2 精華中学校の校舎改築等工事着手について

起工式も終え、現在大型重機が建築場に入り本格的な工事着手となっているが、この着手開始について、9月19日付で周辺地域、南区、祝園西1丁目、南稲八妻区、植田区の4地区に対して回覧を行った。

この工事に先立ち、9月3日には改築等工事の説明会を周辺4自治会に対し実施、その中で様々なご意見を頂いた。特に周辺は通学路になっているため子供たち、また高齢者を中心に住民の安全対策に努めてほしいという願いが一番大きかった。また光台や精華台地区から通勤通学の自転車がかんりのスピードで通行されるという状況があるので十分な安全対策を講じてほしいといった内容であった。また、工事内容について、周辺住民の方が把握できるよう掲示板を正門と工事の車両等進入口（グラウンド南）の両方に設置し情報を共有したいとの希望であった。

いよいよ本格的に工事が始まり、周辺の皆様にはご迷惑をおかけすることになるが、新校舎は来年6月末を目処の完成に向け鋭意工事を進めていきたい。

## ウ 総括指導主事

### 1 児童・生徒の事象についての報告

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるため会議に諮られ、「異議なし」としてこの件については非公開となった。

## エ 生涯学習課長

### 1 第12回「精華町子ども祭り」について

昨年、第11回目を迎えるということで、それまでの10回の取り組みを顧み、検討の結果、コンパクトで充実した内容を目指す

いうことで進めた。それに伴い、昼食のカレーライスの提供を取りやめ、開催時間を短縮するなど全体レイアウトの再構成を行った。今回の第12回についても、基本的にそれを踏襲した形で実施することとしている。

開催日時については、10月18日土曜日の9時から12時30分まで、むくのきセンターで行う。内容については、まず、開会式、そしてそれに伴うオープニングイベントを9時から9時半まで実施する。実行委員長や町長の挨拶に始まり、キャッチフレーズの応募に対する表彰式を行い、その後、精華南中学校の生徒による吹奏楽の演奏を実施することとしている。

キャッチフレーズは、選考の結果、精北小学校5年2組 上田光流さんの「人の数だけ 楽しさ増える みんなあつまれ 子ども祭り」が最優秀賞となり、当日は、上田さんをはじめ優秀賞を受賞した他の4人の子供たちを表彰することとしている。

子ども祭りの中心となる体験コーナーと子どもフリーマーケットの開催は例年どおり進めることとしている。体験コーナーについては、むきのきセンターの室内を中心に21団体に出展いただき、各ブースではさまざまな体験や学習活動に取り組んでいただくこととしている。子どもフリーマーケットについては、むくのきセンターの駐車場で開催することとしており、11団体に出店して頂く予定をしている。模擬店コーナーでは、喫茶「こころ」さんにパンの販売をお願いしている。

また、多くの皆さんに来場いただけるよう、町内巡回バスを4コース運行し、併せて一般駐車場を精北小学校に設けることから、会場との間にシャトルバスで運行する体制をとっている。来場者の安全確保では、主に農免道路と施設との出入りを中心に、警備員10名を配置し、万全を期していきたいと考えている。このほか、京都府が木津川上流浄化センターの施設見学会を連動して開催される予定である。

## オ 図書館長

### 1 図書館年報について

## ①平成25年度の主な活動

- ・平成24年度後半期から試行的に実施していた図書の貸し出し点数の変更（6点から10点）を4月から本格実施。
- ・門脇禎二先生から寄贈された蔵書をもとに、10月から門脇文庫を開設。開設式を行い、開設記念講座を開催。
- ・平成25年から新一年生事業を開始。図書館の利用案内と「小学生のよもよも低学年編」を作成し、学校を通じて対象児童全員に配布。

## ②1年のあゆみ

i 開館日数：280日

ii 年間総貸出冊数：47万3,127点

iii 行事：

子供向けの行事

おはなし会、おひざにだっこ ちいちゃいちいちゃいおはなし会、ブックスタート、ボランティア団体「おはなしのこぼこ」・子育て支援センター・図書館共催のおはなし会スペシャル、おはなしのへやの臨時開室、平和祭典の関連行事、昆虫・植物宿題相談室、子ども祭り関連行事など

大人向けの行事

雑誌・本のリユース・デイ、図書館探検ガイド、門脇文庫開設記念講座、親子手作教室など

iv 広報関連：

毎月1回テーマを変え、本の展示を開催。場所は、図書館入口の展示スペース。町の広報誌やホームページでも閲覧できるよう掲載している。その他「子ども読書本のしおりコンテスト」受賞作巡回展示、「心に残った一冊」の展示、「食育に関する本」展示などを行った。

v 発行物：

子ども読書推進関連の冊子の発行、平和祭典関連冊子の発行、また、図書館だより「楽読楽書（らくらく）」19～22号の発行、ティーンズ向けおすすめ本紹介冊子「よもよも」vol.6.7の発行。

vi 学校との連携：

小学校・中学校、学童保育等への団体貸し出し、社会見学の受け入れ、職場体験の受け入れ、学校訪問活動として山田荘小学校でのブックトークなど。

vii 所蔵資料の状況：

平成25年度購入分が一般書、児童書合わせ4,612冊、その他の受け入れが、2,961冊、年間7,573冊の本を受け入れた。特に寄贈が多くなっているのは、門脇文庫関連で約3,000冊の受け入れを行ったため。視聴覚資料については、58点を受け入れ、平成25年度末で5,200点の所蔵となっている。雑誌は、一般誌、専門誌や児童向けなど210種、新聞は10種購入した。

viii 利用状況：

利用登録者が3万4,817名、うち町民は2万5,602名で、登録率は68.6%。貸し出し状況は、個人貸し出しと団体貸し出し合わせて年間47万3,127冊の貸し出しを行った。地区別には祝園地区、桜が丘地区、それから光台、精華台が多く、また例年の特徴として貸し出し協定を結んでいる木津川市からも約8万6,000冊の利用があった。移動図書館車については、東光小学校は別として、光台、桜が丘で貸し出し点数が多く、全体の41%を占めている。また平成25年度の特徴として、山田地域や東畑の貸し出し点数が増加、全体も対前年比増という結果となった。また、図書館への問い合わせ等では、予約が2万2,640件となっており、他の図書館と比べてかなり多い件数になっている。

ix 過去5年間の推移：

貸し出し総点数は、ほぼ横ばい。移動図書館については、やや増加しているという傾向があった。

x 各種指標：

人口3万以上の町の利用状況等と比較した場合、特に貸出件数、リクエスト件数が上位となっている。

## 【委員の意見】

予算決算常任委員会の中で学校が荒れているとの指摘について、さまざまな研究のために、子供たちに向き合う時間がないのではという指摘か、研究事業とは別でこういった問題があるのかどちらで受け止めたらよいのか。（伊藤委員長）

出張の際の復命書については情報共有には必要。作成するほうがよいと思う。（伊藤委員長）

将来的にはやはり個別の復命書が求められるのではないかと思う。（中谷委員）

中学校給食の件について、一般質問の再質問で、「会議の議事録を見ると中学校給食の基本事項策定後もさまざまな意見があり、基本的事項に対して異論が出てくると思うがどうなのか」という指摘だったが、議事録をご覧になり不協和音が委員会の中あるのではないかと誤解されるので、このあたりは再度意思統一したいと思うが。（伊藤委員長）

基本的事項に従って、着実に進めていく事が大事だと思う。さまざまな問題があるにしても、給食のあり方懇談会などを含め方向性が出ているので、課題を解決しながら進めていくことが重要だと思う（中谷委員）

基本的事項が決定する前の自校方式、センター方式等のディスカッションの中でいろんな意見が出た。その中で一つ一つそのデメリット、メリットなどを検証していく中で、センター方式が一番望ましいのではないかということが基本的事項になると取り決めたわけであるから、その時点で委員間の意思統一は図れていると思う。それに沿って粛々と進めていくことが大切だと思う。（蓑毛委員）

さまざまな議論はあったが最終的に決定した事項があるわけだから、3中学校同時に一番ベストな形で給食がスタートできるよう、検討委員会を含め私たち委員も知恵を絞り、粛々と進めていくことが大切だと思う。（細川委員）

私も委員の皆さんと確認し合ったとおりの意見であり、基本的事項について異論はないということを確認する。（伊藤委員長）

「けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク」について

て、以前より学研都市を次の時代を背負っていく子供たちにこういう形で示していけるのは素晴らしいと思うが、町内すべての学校にスポットが当たるよう均等に機会を整え、いろんなことに出会えるチャンスを提供してほしい。（伊藤委員長）

情報セキュリティーの問題で、3月の調査結果であるが情報の持ち出しが非常に多い結果となっている。半年経過した今はそれがゼロに近い、あるいはゼロというのが理想ではあると思うが、どういう状況か。（中谷委員）

USBは各学校でどれくらい所持しているのか。（中谷委員）

私物パソコンの持ち込みはあるのか、無許可で持ち込みしているなら、統括者の指導ができる体制になっているのか。（伊藤委員長）

教育委員会の開催回数については、時間がかかるときなど午後から夕方までの開催や、午前、午後に分けて行う方法などの方が日程調整しやすい。また委員会とは別に情報交換する機会を設けるのは良いことだと思う。（伊藤委員長）

生徒指導の問題やいじめ問題等、早期に情報を得て解決を図るということになれば、月2回あっても良い。1日の中で午前、午後でも良いが間隔が1カ月開くことを考えると、別の日程で開催する方法でもよいのではないか。（中谷委員）

個人的には1日にまとまっている方がありがたい。委員会で行うのか、勉強会のような形式で行うのか。（菘毛委員）

半月単位の開催で様々な問題に対し迅速に対応できるというのは良いことと思う。現在の月1回開催で行っている教育委員会は何とか全員出席できるよう調整しているので、本町の開催回数が標準的なものであれば、これとは別に、日程調整の付かなかった委員には後日情報を共有することとして、出席できる委員で懇談会的なものを開催するようにするとスムーズに進むのではないか。（細川委員）

図書館年報について、大変すばらしい物を作成され住民の方にも広く周知されるほうが良いと思うが、どの程度の範囲まで周知されているのか。（伊藤委員長）

今回の報告内容の意見ではないが、教員の負担軽減を目的に他市

では部活動をすべて外部委託するというニュースがあったが、他の自治体でも小規模校で教師が顧問になれない場合など、学校掛け持ちの外部指導者が指導しているケースがある。また時間があれば意見交換したい。（伊藤委員長）

### 【事務局】

学級崩壊に近いとか学級崩壊という表現を使つての質問があったが、授業の秩序は保たれており、そこまでの状況にはなっていない。プライバシーの問題もあるため深く言えなかったが、特別支援を要する子供たちの中で、なかなか学校生活に溶け込めない児童が数名おり、暴力的な行為もあり突出した行動をするということで、保護者で話し合い、学校を見守ろうと取り組まれている。それがさまざま受け取り方によって、学級崩壊というような表現までつながっているのではないかと感じている。しかし、現状は保護者の協力も得て学校の秩序は保たれている。（太田教育長）

研修の復命については、議会議員でも個別の復命になってきているので、参考にしながら整理していきたい。（太田教育長）

給食や空調、精華中学校の耐震化の問題については、精華中学校の全面改築、耐震化をまず第一にやり切る。その次の教育環境を整える行政課題として、空調設備の設置と、中学校給食と考えている。いよいよ精華中学校も工事着手に入ったので、そのことを進める時期に来ているという理解をしている。実施方法については、基本的事項を制約的条件としながら具体化していくという流れで現在まで給食検討委員会など立ち上げ検討してきたところ。自校方式は物理的制約もあり設置が難しく、実施方法がほかに無ければ、それでも強引にでも設置する必要はあるだろうが、センター方式で遜色ない運営ができることから、考え方がまとまったと認識しており、教育委員の皆さんとも共通理解が図られていると認識している。（太田教育長）

学研都市を活用した学びの機会を提供するこの事業自体、非常に熱心に取り組まれており、町として学研都市の特色を出したいという狙いがあると思う。町全体が科学のまちにふさわしいような取り

組みにもっていけるかが重要。今は一部の学校が突出した形になっているが、それをどう広げていくかは今後の課題と認識している。

(太田教育長)

情報セキュリティ調査は近いうちに実施予定だが、校長会、教頭会に報告した際にも、機能的に持ち出し可能な状況にあるので、私物のUSB等の持ち込みなど完全に把握するのは難しいとの意見であった。そこで、外部へ持ち出しできない対策ができないか町情報システム担当部署と協議している。一斉にロックすることは可能との事であったが、それにより校務に支障が出ないかという問題もありまだ課題が残っている。(学校教育課長)

教職員の情報セキュリティに関する意識が低い。持ち出すなら適正な手続きを経ることでリスクを最小限にとどめることが出来る。システム的に対策がとれていない状況のため、その対策と教職員の意識向上が急務と考える。(教育部長)

議案や報告事項が多いと2時間半を超える会議が多くなっている。議案や報告事項が多いと考えられる月に、例えば議案を中心とした会議、報告を中心とした会議に分散することが可能か検討したいと考えている。委員会や懇談会などの開催手法については検討し別途お示ししたい。(教育部長)

図書館年報について、冊子の配布は議会議員と教育委員、社会教育委員まで。同様の内容は今年度からホームページに掲載しているので、誰でも閲覧可能となった。(生涯学習課長)

学校の部活動について、学校にもよるが本町ではボランティアにより指導頂いているケースがある。(教育部長)

部活動について、長野県では土日は実施しないという動きもある。学校では相当混乱しているようだが、こう言った内容について時間を取り議論できれば良いと思う。(太田教育長)

## オ 後援関係

8月から9月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数9件、学校教育課関係は1件、生涯学習課関係が8件、うち社会教育係関係が7件、図書係は0件、体育係関係は1件。

カ 10月の行事予定について

次回、教育委員会終了後にツイン廊下方式の運営を行っている木津中学校へ視察予定。

(7) 閉会

委員長が第9回教育委員会の閉会を宣言。